

施工業者様用

〈施工説明書〉

片引き戸・引き違い戸
引き分け戸 専用枠材

上吊り

ピノアース 調整枠

[標準]両側ソフトクローズ

このたびはウッドワンの商品をご採用いただき、誠にありがとうございます。

施工前にこの施工説明書をよくお読みいただき、安全に正しく施工されるようお願い致します。

製品を安全に正しくお使いいただき、お客様や他の人々への危害・財産への損害を未然に防止するために、「安全上のご注意」を
よくお読みください。いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ずお守りいただき、内容をよく理解して正しくお使いください。

両側ソフトクローズのトリガー位置が変わりますので、トリガー取付位置を必ず確認してください。

安全上のご注意 安全に正しくお使いいただくために必ずお守りください



注意

施工に際して以下の注意が守られない場合、施工に従事される方の傷害並びに住まわれる方の
傷害または財産上の損害が生じるおそれがあります。確実に守ってください。

禁止

・屋内専用。

屋外や浴室に使用すると、湿気、雨濡れ、強い太陽光などにより腐れ、割れなどの劣
化が進む原因となります。

・インパクトドライバーで締めすぎないようにする。

インパクトドライバーの締めつけトルクが強すぎると、ビスが空回りしてしまうおそ
れがあります。

・ビスはビス穴に取り付ける。

ビス穴加工以外の位置にビスを取り付けると、枠材に割れが発生し、扉の脱落の原
因となり危険です。

必ずおこなう

・開梱後は換気を行なう。

本製品はホルムアルデヒド・VOC(揮発性有機化合物)対策品です。ただし、新築・リ
フォーム直後や夏場など高温の環境下ではホルムアルデヒド・VOCが室内に滞留
しやすく、健康被害につながるおそれがありますので、施工中、使用中は適宜換気
を行うようにしてください。

・躯体に欠点がないことを確認する。

枠材固定のビスがあたる部分に筋や割れなどの欠点がある場合、枠材が確実に固
定されず、はずれてしまう原因となり危険ですので、強固に固定できるよう下穴や
下地材を入れてください。

・補強の飼木(現場調達)を入れる。

ソフトクローズ仕様の際は、トリガー取り付け位置の鴨居裏に補強の飼木(現場調
達)を必ず入れてください。飼木で補強をしないと、鴨居が破損してしまうおそれ
があります。

・同梱の金具を使用する。

本製品の取り付け、施工には必ず同梱の金具類を使用してください。

お願い

・施工完了までは、立て掛けたりすると反りの発生原因となりますので、水平になるように保管してください。

・照明灯・ストーブなどを近づけると熱により変色しますので、開梱後施工完了まで1メートル以上離してください。

施工終了後

◆養生

当て傷・擦り傷等がつかないように保護紙等でカ
バーして養生してください。粘着テープなどは
直接商品に貼り付けないようにしてください。

◆お手入れのしかた

枠材が汚れている場合は、水で薄めた中性洗剤を含ませた柔らかい布を固くしぼってふ
き取り、乾いた布で仕上げてください。ベンジン・アルコール・シンナー・塩素系洗剤などの
溶剤を使用すると変色・変質しますので、絶対に使用しないでください。

■ 梱包内訳表

枠本体セット							
部材名		縦枠 (開口部側)	縦枠 (戸袋側)	中方立 (モヘア付)	鴨居	鴨居 レール (アルミ)	木製 幕板
入数	片引き戸	1本	1本	1本	1本	1本	1本
	引き違い戸	2本	—	—	1本	2本	1本
	引き分け戸	—	2本	2本	1本	1本	1本
備考 (部材品番等)		—	—	—	—	—	—

ビスセット(枠本体セットに梱包)							
		袋の色	赤	赤	黄	黄	透明
部材名			木ダボ	組み立て ビス	躯体接合 金具ビス	六角レンチ	クッション キャップ
		セット品番	6mm 35mm	62mm φ3.8mm	47mm φ3.8mm	7mm L50mm	φ16
入数	片引き戸	ZYQH74-□	2本	6本	10本	1本	8個
	引き違い戸	ZYQH75-□	2本	4本	10本	1本	8個
	引き分け戸	ZYQH76-□	2本	8本	12本	1本	8個
備考 (部材品番等)		—	—	—	枠と躯体の 固定に使用 できます。	—	—

金具セット(枠本体に同梱)【両側ソフトクローズ】									
部材名			吊車	振れ止め 金具 (床付用)	戸じゃくり キャップ	引き分け ストッパー	上レール 取り付け ビス (皿ビス)	クローザー 本体 (吊車セット)	トリガー セット (ビス2本セット)
セット品番							 18mm φ3.5mm		
入 数	片引き戸	ZYTKW	1個	1個	2個	—	6本	1	2
	引き違い戸	ZYTHW	2個	2個	2個	—	12本	2	4
	引き分け戸	ZYTLW	2個	2個	2個	1個	12本	2	4
備 考			ZYTF21	ZY3334	ZYTNC01	ZYTLS21	ZYTA01	ZYTSCW21	ZYTTG21

引き手方向の確認

片引き戸には、引き手方向によって左右の区別がありますので、ご確認のうえ施工してください。

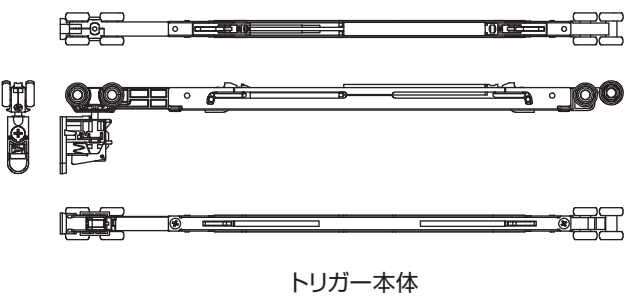
※片引き戸の場合のみ。

右引き

左引き

※商品の種類によって、同梱されていても使用しない部材があります。

別梱包			
部材名		ケーシングセット	
入数	片引き戸	縦用4本	横用2本
	引き違い戸	縦用4本	横用2本
	引き分け戸	縦用4本	横用2本
備考 (部材品番等)		—	—



片引き戸 施工…3ページに進んでください。

引き違い戸 施工…8ページに進んでください。

引き分け戸 施工…13ページに進んでください。

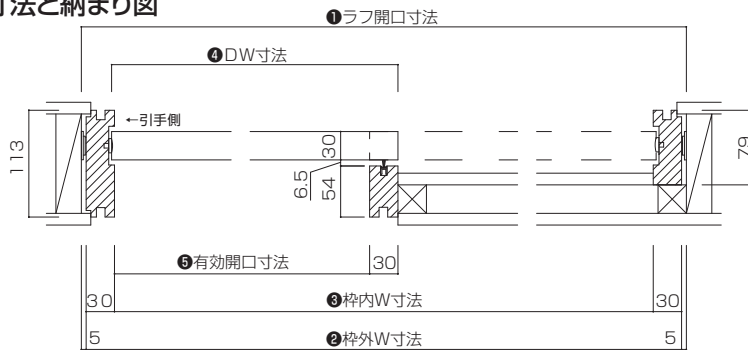
【片引き戸】 納まり図

枠本体に躯体接合金具が付いているため、下記のラフ開口に準じた施工をお勧めします。
下記レール詳細図を確認し、トリガー、ストッパーなどの取り付け位置をご確認ください。

横断面図

(単位:mm)

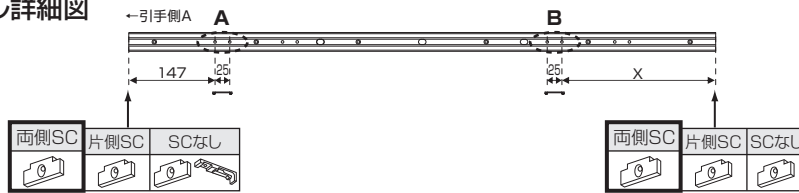
■枠製品寸法と納まり図



■枠製品寸法と納まり図

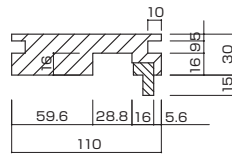
製品寸法	1,824	1,644	1,450	1,190
①ラフ開口寸法	1,834	1,654	1,460	1,200
②枠外W寸法	1,824	1,644	1,450	1,190
③枠内W寸法	1,764	1,584	1,390	1,130
④DW寸法	900	810	713	583
⑤有効開口寸法	867	777	680	550
X寸法	579	489	392	262

■レール詳細図



■トリガー取り付け位置

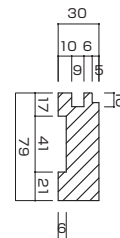
両側ソフトクローズ仕様 A・B



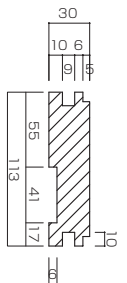
鴨 居



中方立て



縦枠(戸袋側)

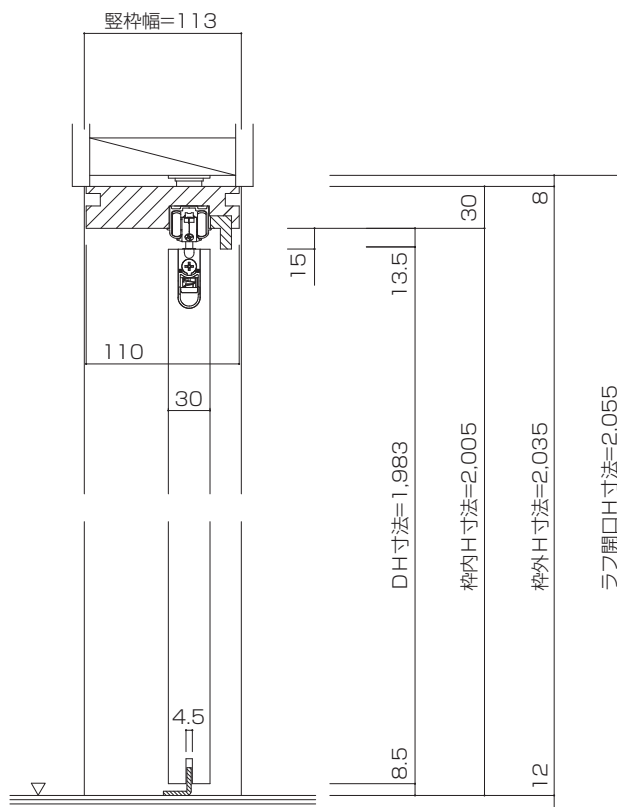


縦枠(開口部側)

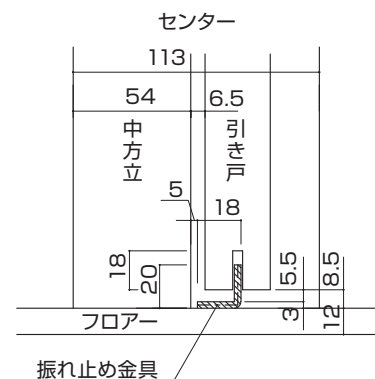
※SC…「ソフトクローズ」の略称です。

縦断面図

(単位:mm)



振れ止め金具取り付け位置

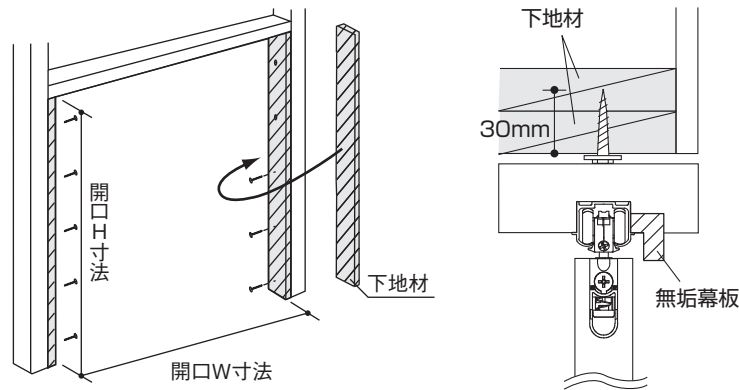


施工手順

⚠ 施工には必ず付属の部品を使用してください。

1 取り付け開口部の確認

開口部に下地材を取り付け、納まり図参照の上、枠外寸法に見合った開口を設けてください。



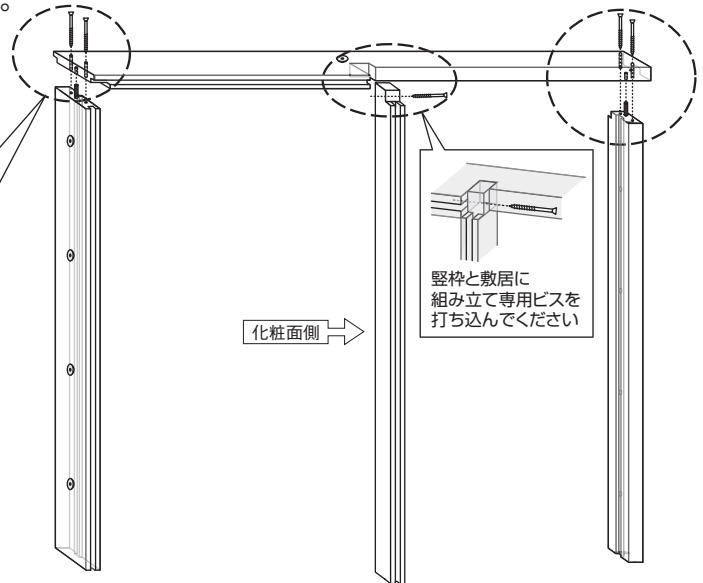
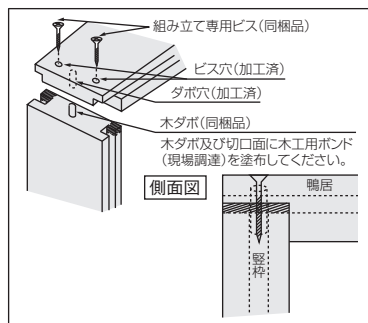
⚠ 注意

扉の自重に対するビスの保持のアップの為、下地材は必ずダブルでとりつけて補強してください。

2 枠材の組み立て

■ 枠材を専用ビスを使用して組み立ててください。

部材の上下、左右を確認のうえ、組み立てをおこなってください。鴨居、縦枠などの固定は必ず同梱のビス・ダボなどを使用してください。



縦枠は左右兼用になっています。

3 枠材の仮固定と縦枠のビス固定

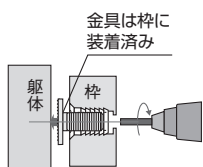
4方に組んだ枠材(床直付けレールの場合3方)を開口部にセットしてください。

本製品の枠材には躯体接合金具が装備されているので仮固定に別途パッキン材などを用意する必要はありません。

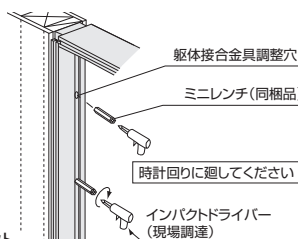
① 枠材の仮固定

開口部に枠材をはめ込み、水平と垂直、ネジレを調整し、同梱のミニレンチを使用し、躯体接合金具を突っ張らせて枠材を仮固定します。

ポイント 金具で突っ張らせて枠を仮固定する

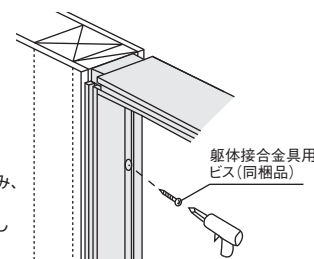


同梱のミニレンチをインパクトドライバーにチャックして、時計回りに廻し、金具の足を柱まで伸ばします。チャックできないインパクトドライバーの場合は、ミニレンチの十字にビットを差し込んでご使用ください。



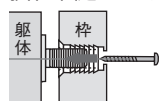
⚠ 注意

インパクトドライバーのトルクを強くすぎると、金具が破損してしまうおそれがあります。



② 縦枠のビス固定

縦枠を躯体接合金具用ビスで躯体に固定させます。

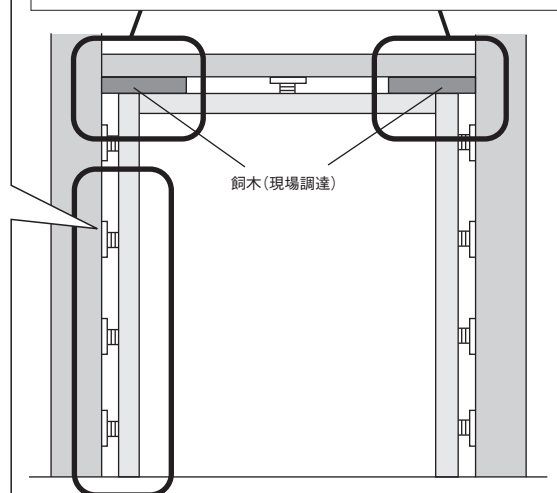


枠材表面の穴よりビスを差し込み、柱と枠を固定します。(縦枠→調整→鴨居の順に固定します。)

⚠ 注意

ソフトクローズ仕様の場合はトリガー取り付け位置の鴨居裏に補強の飼木(現場調達)を入れる。

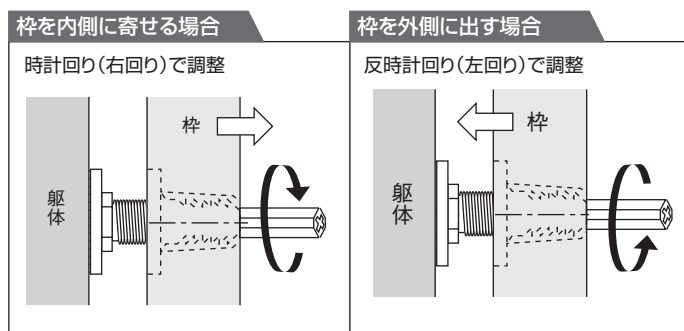
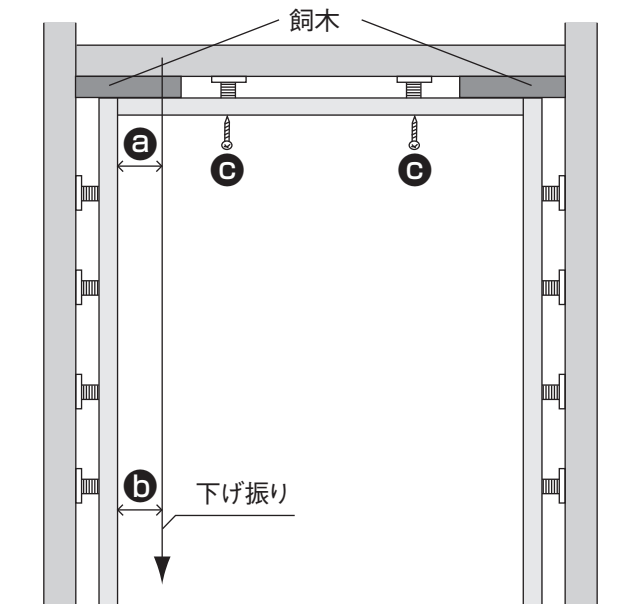
※この位置に飼木がないと、鴨居に負荷がかかってしまうおそれがあります。



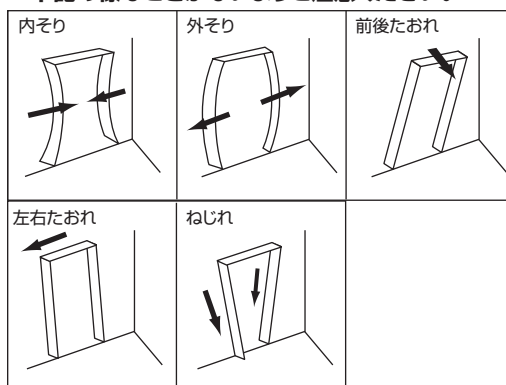
4 建て付け調整と鴨居の本固定

■ 縦枠を固定後、水準器などを使用し、縦枠、鴨居、敷居などの水平、垂直をよく確認し、縦枠と同様の手順で鴨居を固定してください。

- ① 水準器などを使用し、**a**=**b**となるよう調整してください。
併せて前後の建りも調整してください。

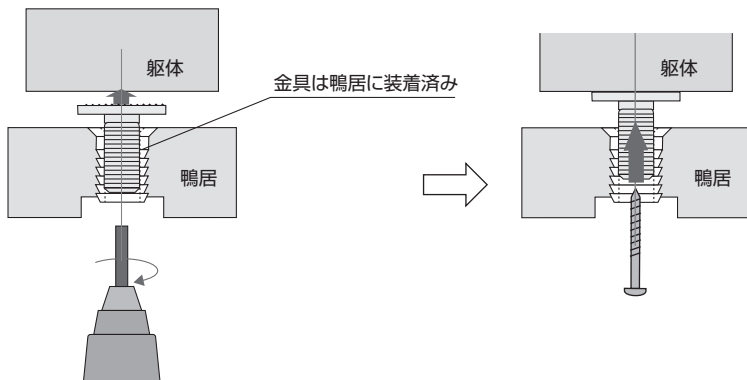


※下記の様なことがないようにご注意ください。

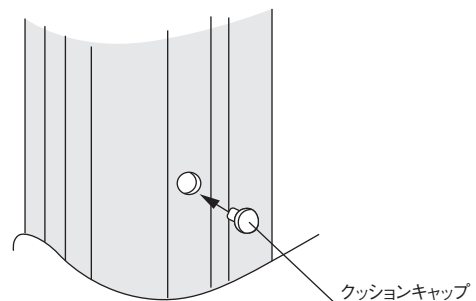


- ② **c**は建りを調整後、最後に固定してください。

縦枠と同様の手順で鴨居を固定します。



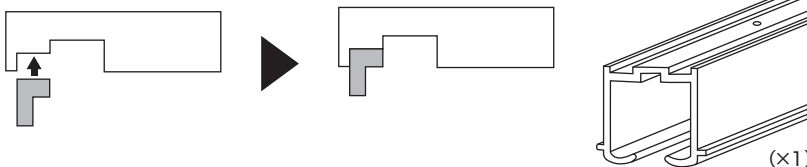
- ③ 縦枠を調整後、ビス穴にクッションキャップを取り付けます。



⚠ 施工には必ず付属の部品を使用してください。

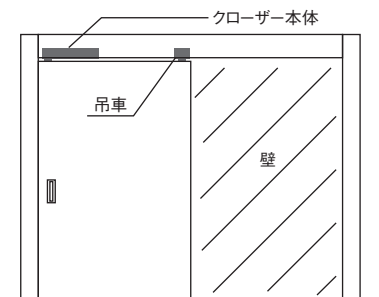
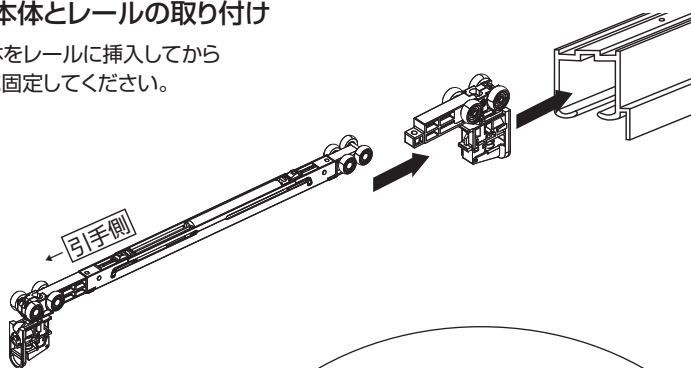
■ 幕板と鴨居レールの取り付け

鴨居レール(アルミレール)に幕板は取り付けません。別途無垢幕板を木工用ボンド(現場調達)とフィニッシュネイルを併用で鴨居に取り付けてください。
※無垢幕板の長さ寸法は鴨居寸法に合わせて両端部を現場カットしてください。

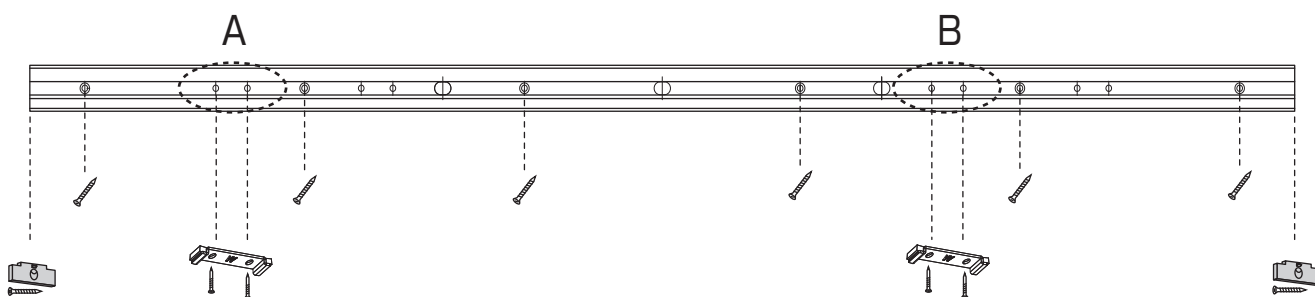
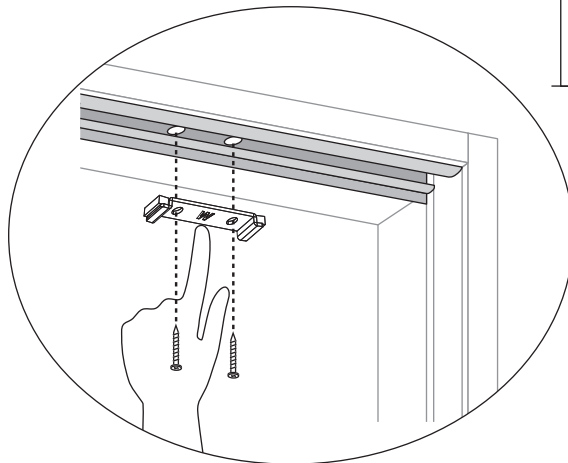
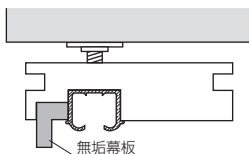


①クローザー本体とレールの取り付け

クローザー本体をレールに挿入してから
レールを鴨居に固定してください。

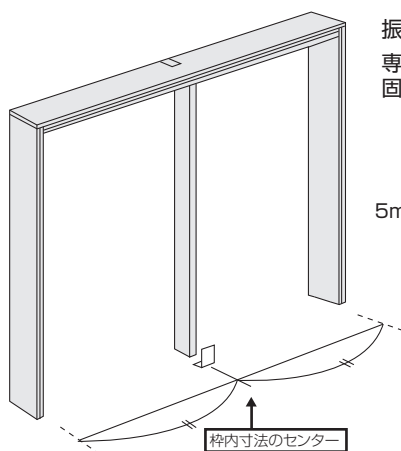


②鴨居レールの取り付け

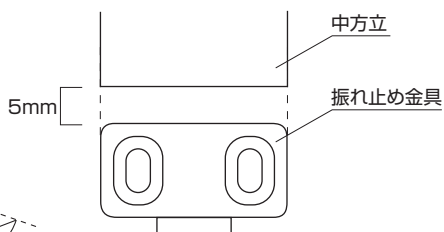


※このイラストではクローザー本体、上部ガイドのイラストは省略しています。

5 振れ止め金具の取り付け

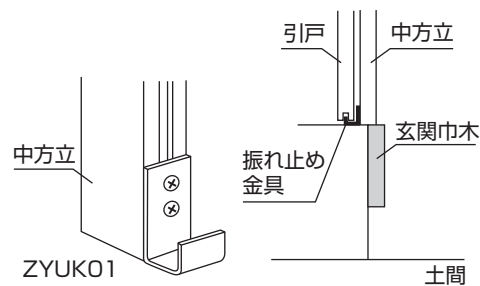


振れ止め金具取り付け位置
専用ビスでフローアに
固定してください。



上吊り中方立取り付け用振れ止め金具(別売品)の場合

中方立の下端に合わせて振れ止め金具を
同梱のビスで取り付けてください。



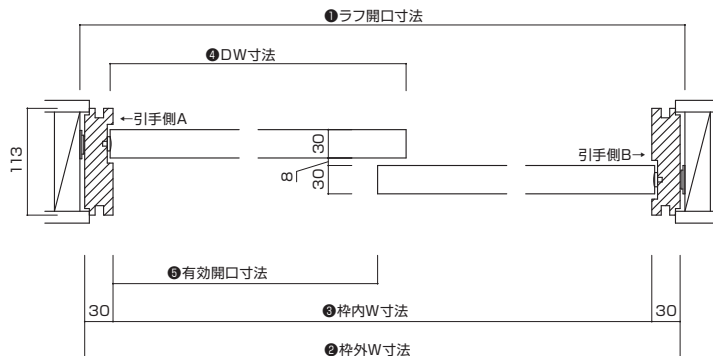
【引き違い戸】納まり図

枠本体に躯体接合金具が付いているため、下記のラフ開口に準じた施工をお勧めします。
下記レール詳細図を確認し、トリガー、ストッパーなどの取り付け位置をご確認ください。

横断面図

(単位:mm)

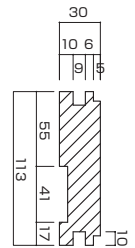
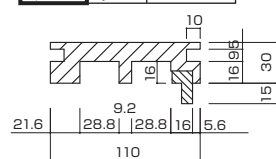
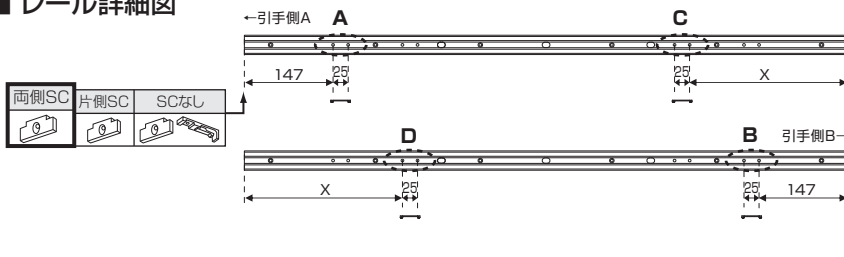
■ 枠製品寸法と納まり図



■ 枠製品寸法と納まり図

製品寸法	1,824	1,644
①ラフ開口寸法	1,834	1,654
②枠外W寸法	1,824	1,644
③枠内W寸法	1,764	1,584
④DW寸法	900	810
⑤有効開口寸法	867	777
X寸法	579	489

■ レール詳細図



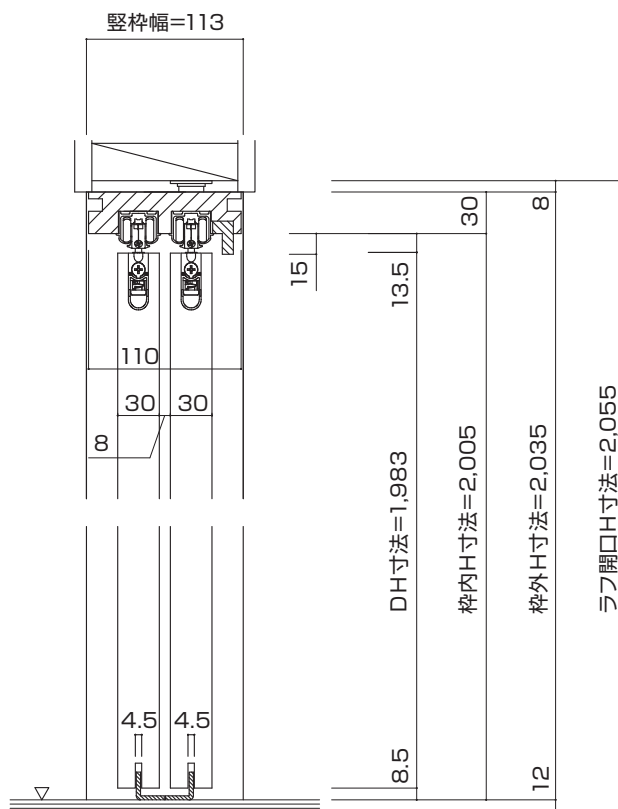
■ トリガー取り付け位置

両側ソフトクローズ仕様 A・B・C・D

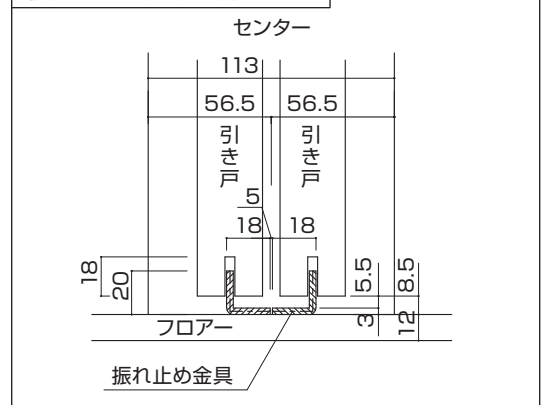
※SC…「ソフトクローズ」の略称です。

縦断面図

(単位:mm)



振れ止め金具取り付け位置

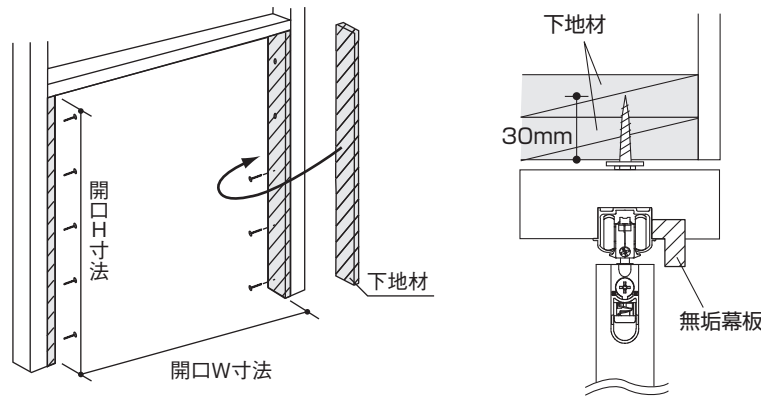


施工手順

⚠ 施工には必ず付属の部品を使用してください。

1 取り付け開口部の確認

開口部に下地材を取り付け、納まり図参照の上、枠外寸法に見合った開口を設けてください。

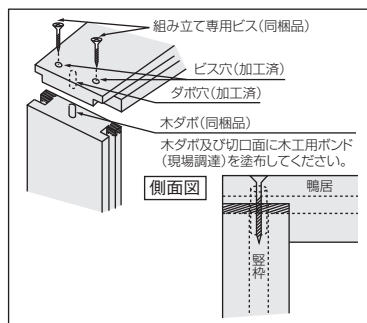


⚠ 注意

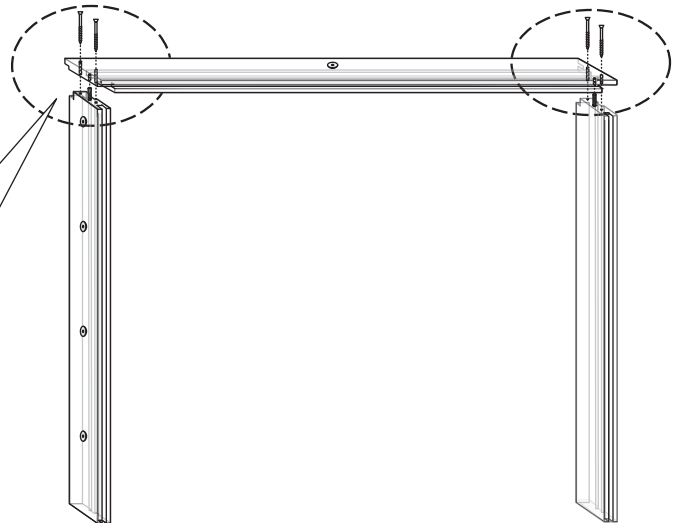
扉の自重に対するビスの保持のアップの為、下地材は必ずダブルでとりつけて補強してください。

2 枠材の組み立て

■ 枠材を専用ビスを使用して組み立ててください。
部材の上下、左右を確認のうえ、組み立てをおこなってください。鴨居、縦枠などの固定は必ず同梱のビス・ダボなどを使用してください。



縦枠は左右兼用になっています。



3 枠材の仮固定と縦枠のビス固定

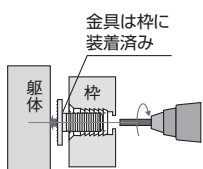
4方に組んだ枠材(床直付けレールの場合3方)を開口部にセットしてください。
本製品の枠材には躯体接合金具が装備されているので仮固定に別途パッキン材などを用意する必要はありません。

① 枠材の仮固定

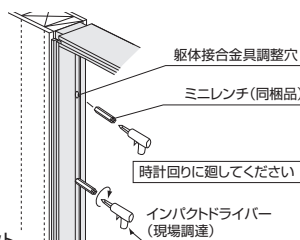
開口部に枠材をはめ込み、水平と垂直、ネジレを調整し、同梱のミニレンチを使用し、躯体接合金具を突っ張らせて枠材を仮固定します。



金具で突っ張らせて枠を仮固定する



同梱のミニレンチをインパクトドライバーにチャックして、時計回りに廻し、金具の足を柱まで伸ばします。チャックできないインパクトドライバーの場合は、ミニレンチの十字にビットを差し込んでご使用ください。

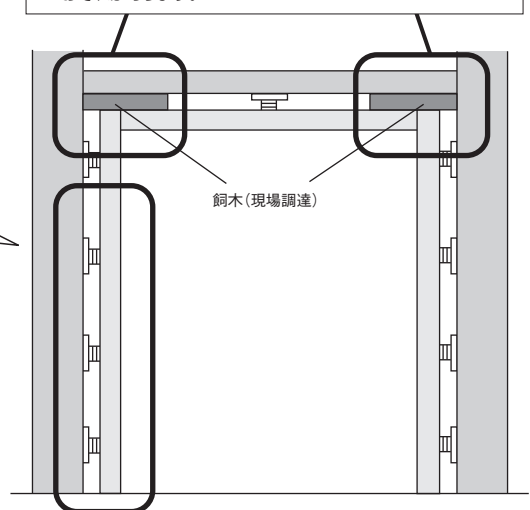


⚠ 注意

インパクトドライバーのトルクを強くしすぎると、金具が破損してしまうおそれがあります。

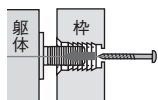
⚠ 注意

ソフトクローズ仕様の場合はトリガー取り付け位置の鴨居裏に補強の飼木(現場調達)を入れる。
※この位置に飼木がないと、鴨居に負荷がかかってしまうおそれがあります。

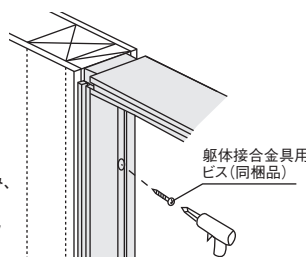


② 縦枠のビス固定

縦枠を躯体接合金具用ビスで躯体に固定させます。



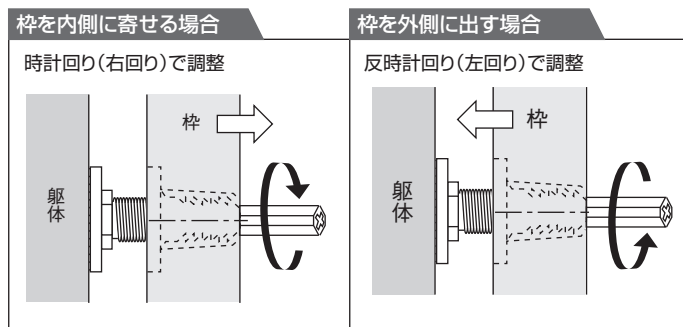
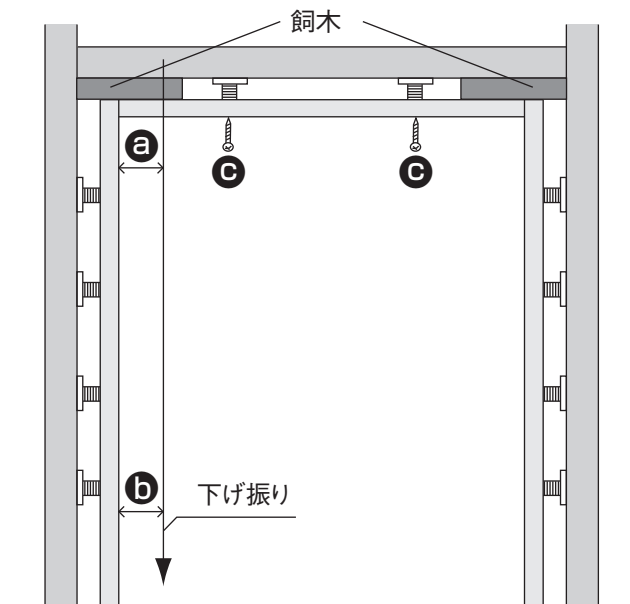
枠材表面の穴よりビスを差し込み、柱と枠を固定します。(縦枠→調整→鴨居の順に固定します。)



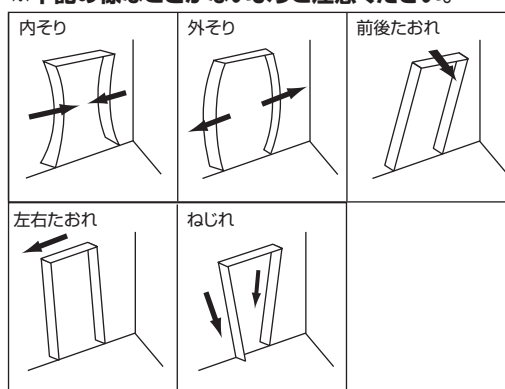
4 建て付け調整と鴨居の本固定

■ 縦枠を固定後、水準器などを使用し、縦枠、鴨居、敷居などの水平、垂直をよく確認し、縦枠と同様の手順で鴨居を固定してください。

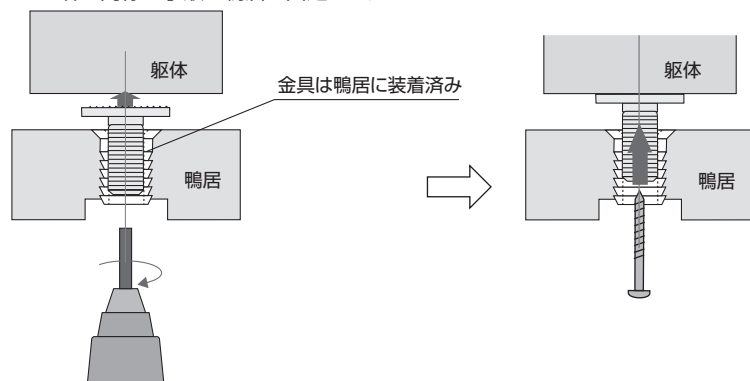
- ① 水準器などを使用し、**a**=**b**となるよう調整してください。
併せて前後の建りも調整してください。



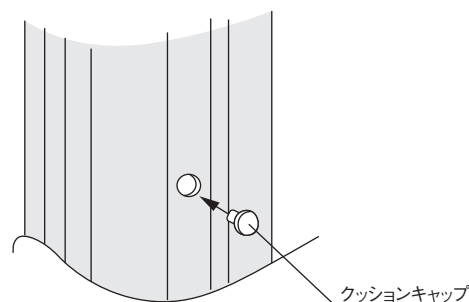
※ 下記の様なことがないようにご注意ください。



- ② **c**は建りを調整後、最後に固定してください。
縦枠と同様の手順で鴨居を固定します。

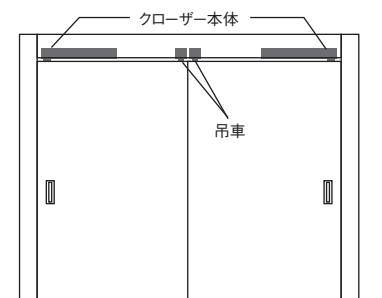
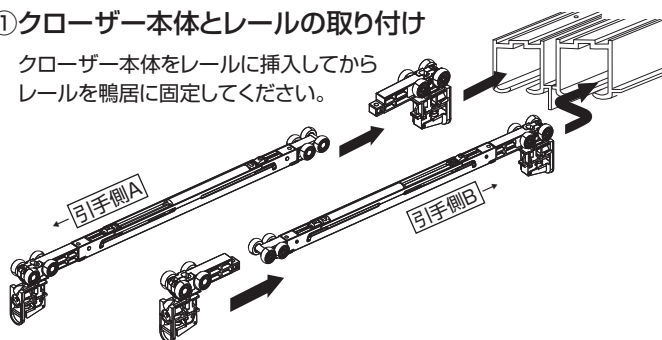


- ③ 縦枠を調整後、ビス穴に
クッションキャップを取り付けます。



①クローザー本体とレールの取り付け

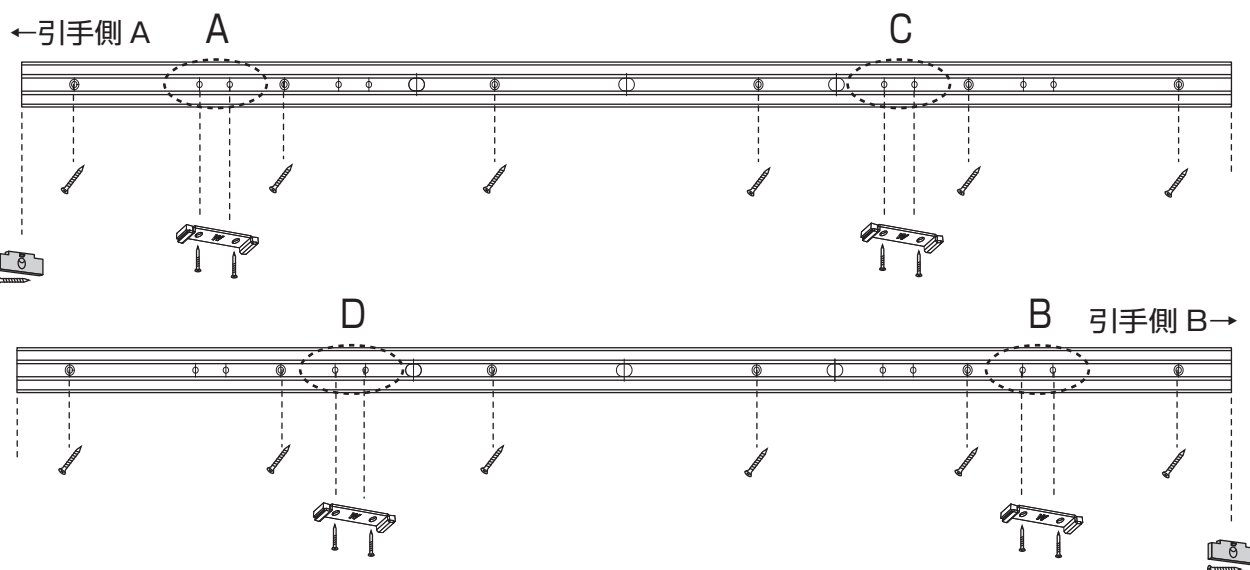
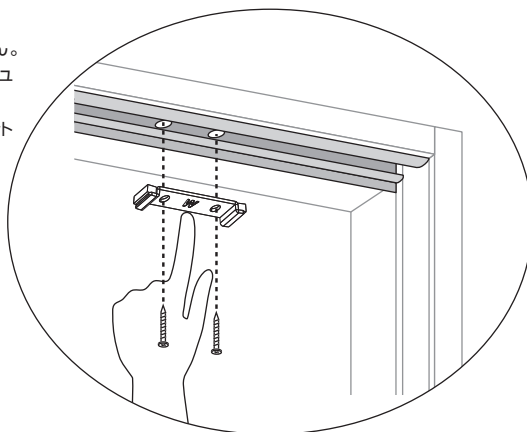
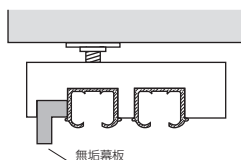
クローザー本体をレールに挿入してから
レールを鴨居に固定してください。



②幕板と鴨居レールの取り付け

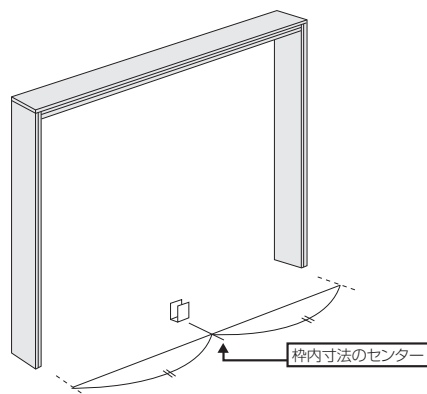
鴨居レール(アルミレール)に幕板は取り付けません。
別途無垢幕板を木工用ボンド(現場調達)とフィニッシュ
ネイルを併用で鴨居に取り付けてください。

※無垢幕板の長さ寸法は鴨居寸法に合わせて両端部を現場カット
してください。

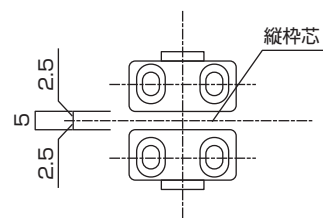


※このイラストではクローザー本体、上部ガイドのイラストは省略しています。

5 振れ止め金具の取り付け



振れ止め金具取り付け位置
専用ビスでフローアに
固定してください。



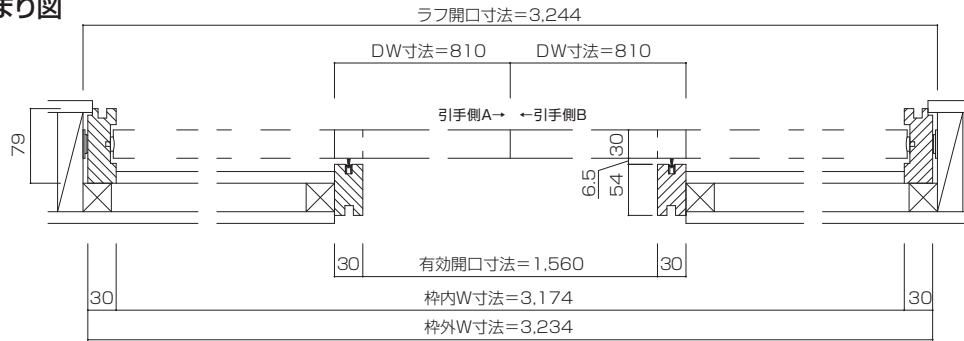
【引き分け戸】 納まり図

枠本体に躯体接合金具が付いているため、下記のラフ開口に準じた施工をお勧めします。
下記レール詳細図を確認し、トリガー、ストッパーなどの取り付け位置をご確認ください。

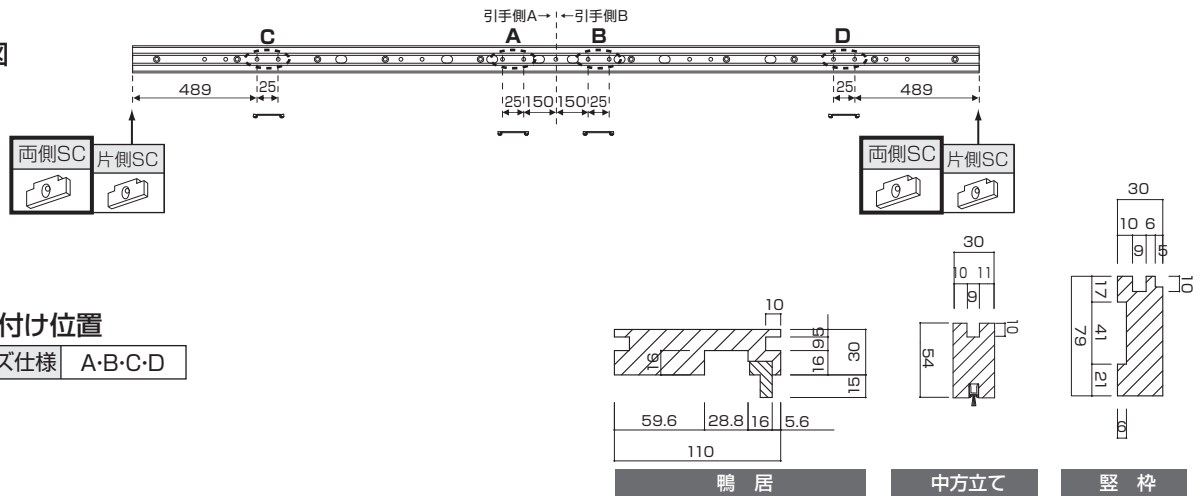
横断面図

(単位:mm)

■枠製品寸法と納まり図



■レール詳細図



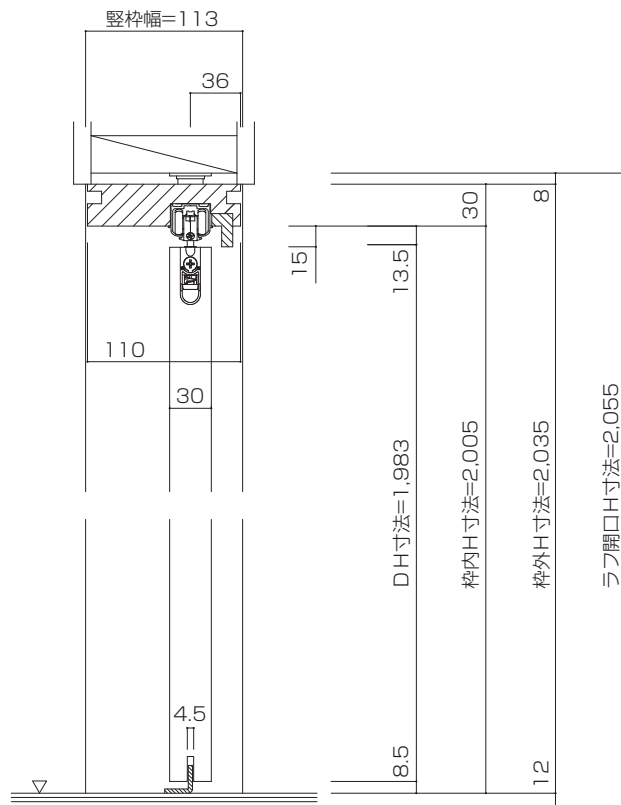
■トリガー取り付け位置

両側ソフトクローズ仕様 A・B・C・D

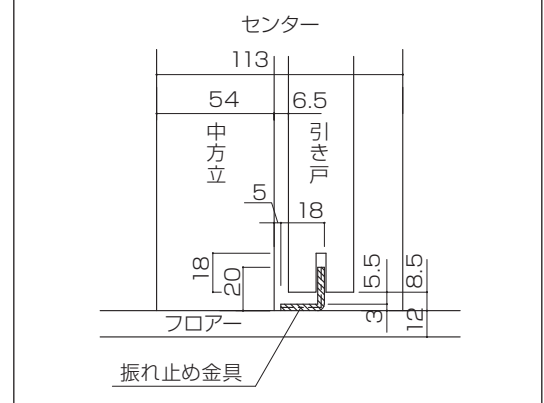
※SC…「ソフトクローズ」の略称です。

縦断面図

(単位:mm)



振れ止め金具取り付け位置

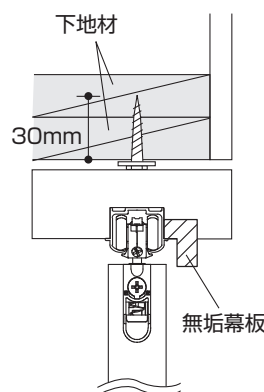
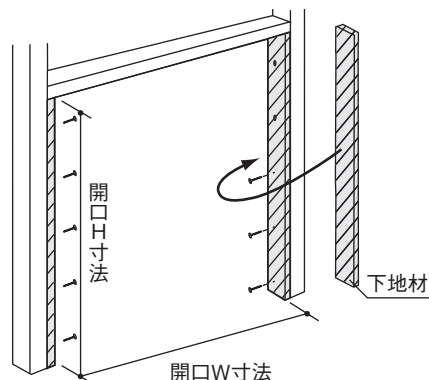


施工手順

⚠ 施工には必ず付属の部品を使用してください。

1 取り付け開口部の確認

開口部に下地材を取り付け、納まり図参照の上、枠外寸法に見合った開口を設けてください。



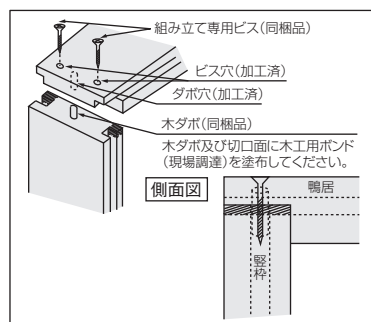
⚠ 注意

扉の自重に対するビスの保持のアップの為、下地材は必ずダブルでとりつけて補強してください。

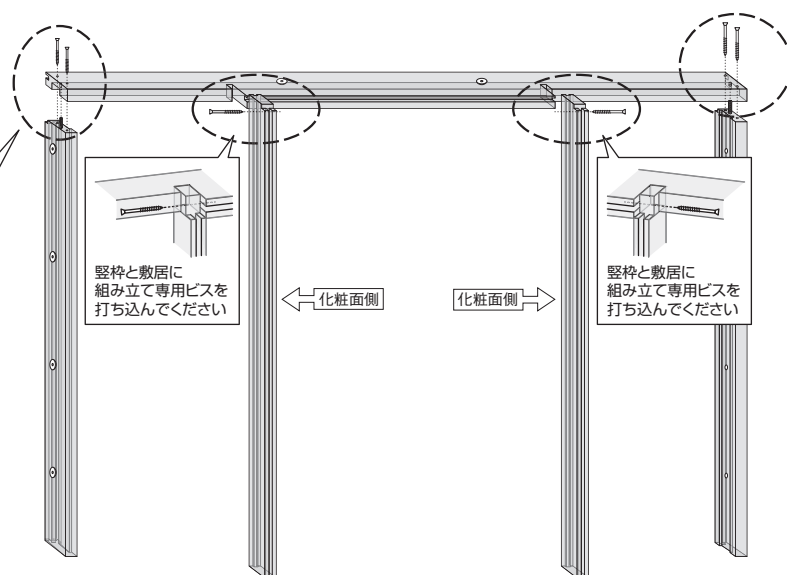
2 枠材の組み立て

■ 枠材を専用ビスを使用して組み立ててください。

部材の上下、左右を確認のうえ、組み立てをおこなってください。鴨居、縦枠などの固定は必ず同梱のビス・ダボなどを使用してください。



縦枠は左右兼用になっています。



3 枠材の仮固定と縦枠のビス固定

4方に組んだ枠材(床直付けレールの場合3方)を開口部にセットしてください。

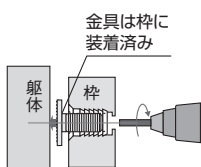
本製品の枠材には躯体接合金具が装備されているので仮固定に別途パッキン材などを用意する必要はありません。

① 枠材の仮固定

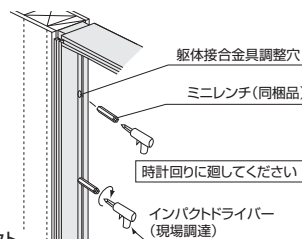
開口部に枠材をはめ込み、水平と垂直、ネジレを調整し、同梱のミニレンチを使用し、躯体接合金具を突っ張らせて枠材を仮固定します。



ポイント 金具で突っ張らせて枠を仮固定する

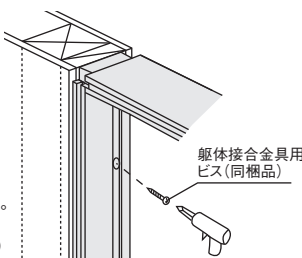


同梱のミニレンチをインパクトドライバーにチャックして、時計回りに廻し、金具の足を柱まで伸ばします。チャックできないインパクトドライバーの場合は、ミニレンチの十字にビットを差し込んでご使用ください。



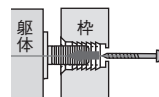
⚠ 注意

インパクトドライバーのトルクを強くしすぎると、金具が破損してしまうおそれがあります。



② 縦枠のビス固定

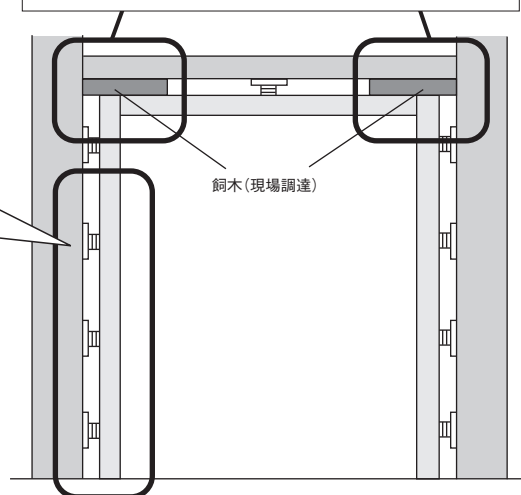
縦枠を躯体接合金具用ビスで躯体に固定させます。



枠材表面の穴よりビスを差し込み、柱と枠を固定します。(縦枠→調整→鴨居の順に固定します。)

⚠ 注意

ソフトクローズ仕様の場合はトリガー取り付け位置の鴨居裏に補強の飼木(現場調達)を入れる。
※この位置に飼木がないと、鴨居に負荷がかかってしまうおそれがあります。

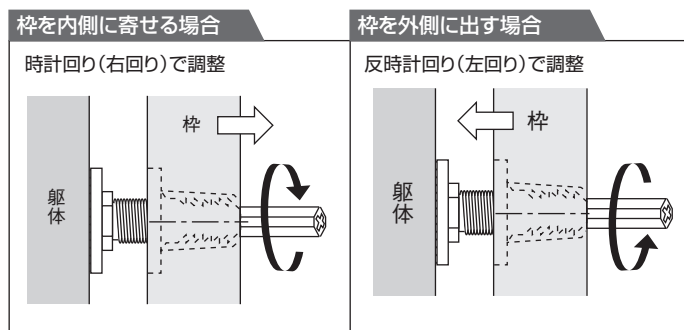
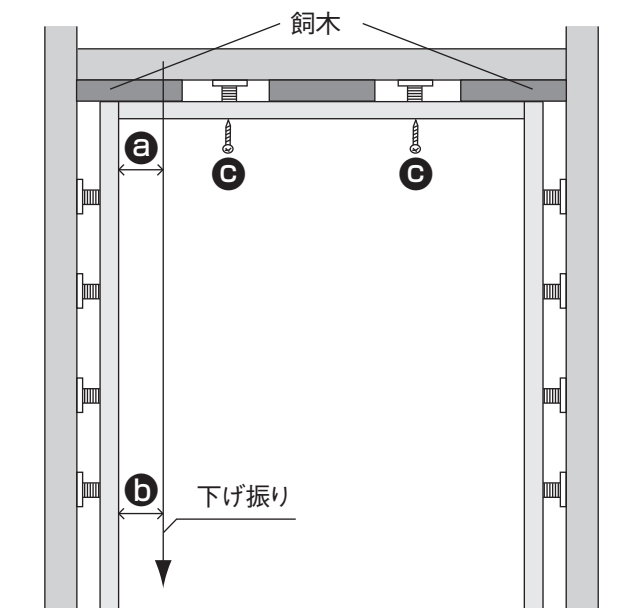


4 建て付け調整と鴨居の本固定

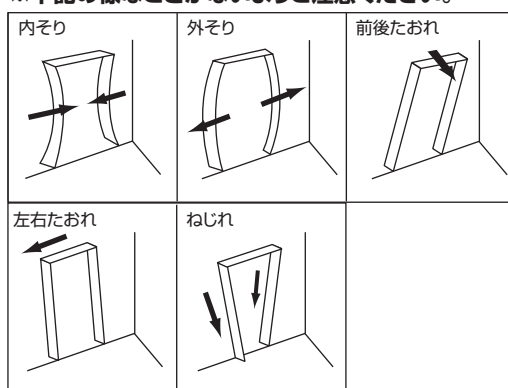
■ 縦枠を固定後、水準器などを使用し、縦枠、鴨居、敷居などの水平、垂直をよく確認し、縦枠と同様の手順で鴨居を固定してください。

① 水準器などを使用し、**a**=**b**となるよう調整してください。

併せて前後の建りも調整してください。



※下記の様なことがないようにご注意ください。

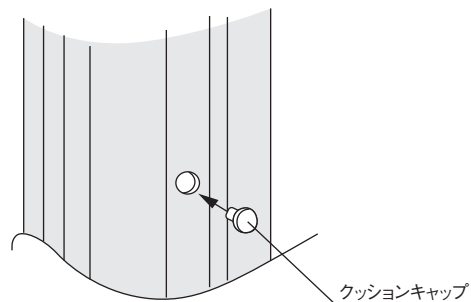
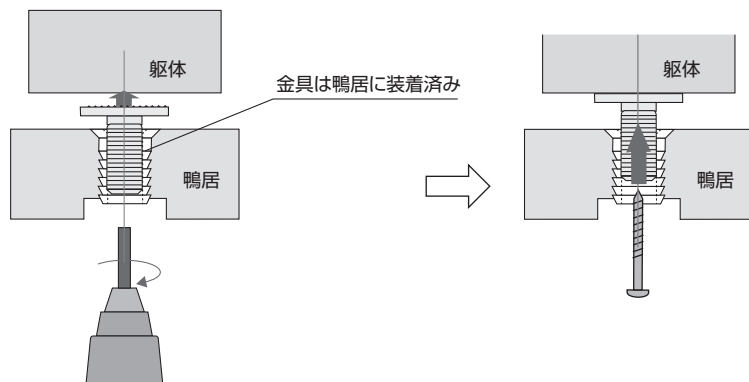


② **c**は建りを調整後、最後に固定してください。

縦枠と同様の手順で鴨居を固定します。

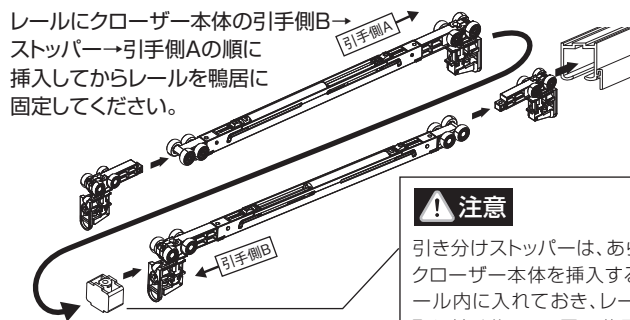
③ 縦枠を調整後、ビス穴に

クッションキャップを取り付けます。



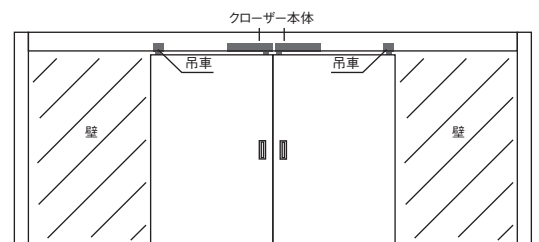
①クローザー本体とレールの取り付け

クローザー本体をレールに挿入してから
レールを鴨居に固定してください。



⚠ 注意

引き分けストッパーは、あらかじめクローザー本体を挿入する際にレール内に入れておき、レール鴨居取り付け後に、下図の位置にビスにて固定をお願い致します。

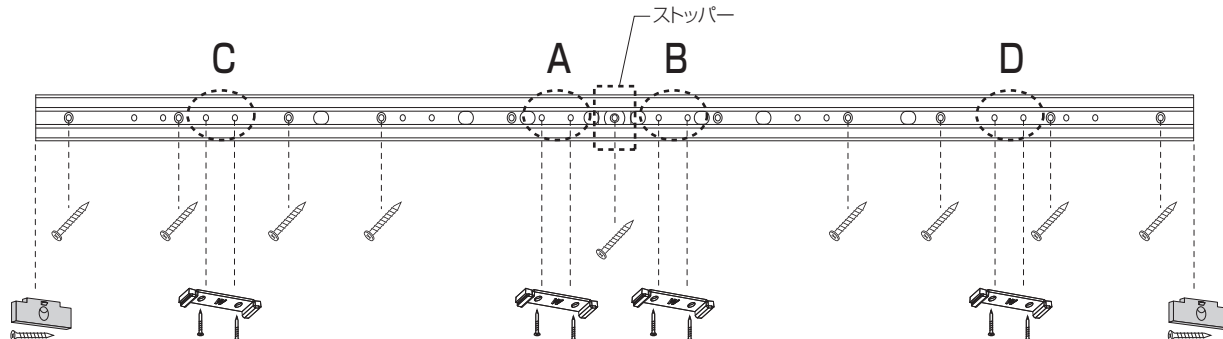
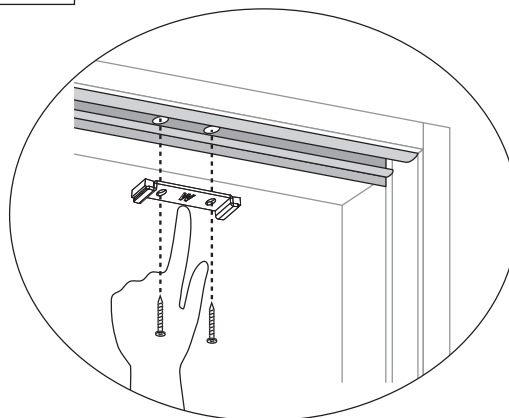
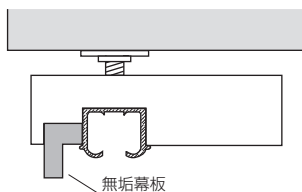


⚠ 注意

両側ソフトクローズ機構ありの場合、商品寸法によりスライダーの種類が異なる場合があります。

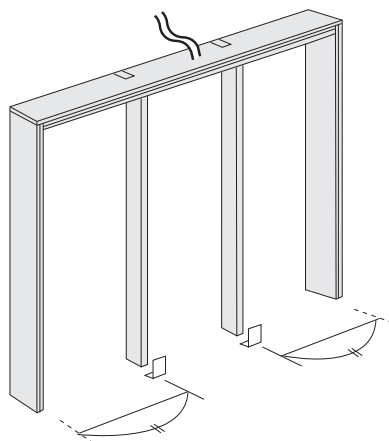
②幕板と鴨居レールの取り付け

鴨居レール(アルミレール)に幕板は取り付けません。
別途無垢幕板を木工用ボンド(現場調達)とフィニッシュネイルを
併用で鴨居に取り付けてください。
※無垢幕板の長さ寸法は鴨居寸法に合わせて両端部を現場カットしてください。

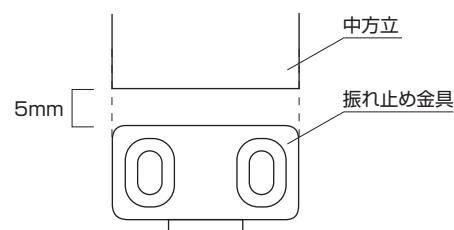


※このイラストではクローザー本体、上部ガイドのイラストは省略しています。

⑤ 振れ止め金具の取り付け



振れ止め金具取り付け位置
専用ビスでフローアに
固定してください。



memo

